



新春スペシャル対談 with 岡部はち郎さん

テレビ・ラジオと多方面でご活躍中の“岡はち”でおなじみ、岡部はち郎氏を特別ゲストに迎え、当協議会会長・今村順氏ならびに副会長・多田悦子氏との対談が行われた。

岡部：実は、うちは秋月の出なんですけど、じいちゃんは博多織の職人で、地元の野鳥（のとり）の辺では売れんけんて、博多までリヤカー引いてから行ったそうです。

多田：うちも実家は博多織です。

岡部：ええ～！！ほんとですか！？

多田：野鳥川沿いでしょ？ 私は福岡の方から疎開してきたので詳しいことは知らないけど、秋月は結構博多織が多いんですよ。湿度が高くて京都と気候が同じなんです。生糸は湿度がないとパラバラになって織れないんですよ。

岡部：なるほど！うちの親父と兄弟は博多織師は継がなかったんですけど、なんでかって言うと、うちのじいちゃんは酒が好きやったんですよ。「酒飲まんて博多織できん！」って言いよったって、ばあちゃんが言ったらしいんですけど、それで「子どもには絶対博多織師させん、そげん酒飲むんやったらせんでいい！」って（笑）

今村：お父さんは今おいくつでいらっしゃいますか？

岡部：うちの親父は今88歳ですけど、元建築で請負師やったからですね、身体強いんですよ。昔の人やけんが、やっぱり魚とか食うとるし、割合強いわけですたい。今でも福岡市の南市民体育館には20年間毎日通い続けてます。

ずっとストレッチしたりとか、歩いたりとか。一時はパーベルば上げよったらしいです。未だに腕相撲したら負けます（笑）親父は強いですねえ。ここ5年で2回くらい手術しましたけど、立ち直ってますね。

5年前の11月の祝日にたまたま実家に行った時、親父がふとんのところでじっとしとうけん、「何しよう？」って言ったら、「なんか、腹の中が花火の上がったごと痛いつたい、たまらんつたい。」て言うけん、病院に連れて行ったら先生が「盲腸が破裂しますよ」と。そりゃ花火あがつうよね（笑）大正12年生まれの人はい慢強いとでしょうね。



協議会ホームページへ今すぐアクセス！ <http://www.asakura.in>

新春スペシャル対談



多田：私は両親とも短命でしたけど、夫が脳梗塞をやってもう8年です。日に日に今のことを忘れるようになってきたんですよ。同じことをなんべんも言うようになるので辛いですね。辛いと思えてたらいいけど、あんまり言われると「あなたさっきも言ったっちゃない」で、すぐ言いたくなる。あれは言ったらいけないんだけど。

岡部：以前、全国で認知症の方を応援する言葉のコンテストがあって、「それ何度も聞いたよおばあちゃん、とは言わない私」っていうのがありましたね。私が一番心配してるのは、

うちの親父とお袋が年老いて足腰が弱くなるより、息子が誰か分からなくなったらどうするかなどは最近真剣に思いますね。物事を忘れてたり自分もそうなりつつあるから。

多田：ご高齢のご夫婦ですし、老老介護のことも気になりますね。

岡部：近くに姉がいるので、だいたい親を見るのは娘が一番いいっていうので、たぶん姉ちゃんが一番メインになるとは思うんですけど、もちろん兄弟でサポートしようかなと思ってます。

今村：ご両親をご家族が支えることが一番望ましいことですが、これからはそれに加えて地域全体でそういうご家族を支えていきたいって思いますね。ですから介護事業所も常に地域貢献やまちづくりの視点を置いておかなければいけないと思っています。

岡部：ところで、ここにいる皆さんはどんな想いで今のお仕事されてるんですか？ 私は人と人の思いをつなぐ仕事をしたいたからなんですけど。だからラジオをしてるし、テレビもやっています。

今村：私は法人創設者の想いに応えたい、その一心で取り組んでいます。それだけです。

岡部：最高のセリフ！そういう信念こそ大事だと思います。

多田：私は自分が楽しいから。本当に毎日が楽しいです。みんなに言いますよ。「自分が好きなこと、楽しいことしかしんしゃんな」「私は楽しいから、嬉しいからしよう」とって。



岡部：儲かるけんしよるとって人がいたら、それはそれで否定はしません。でも、そういう信念を持ってやって頂けるんなら、これから僕らも安心して皆さんにお任せできますね！

多田：「私は楽しいからここに来ようよ」と。うちは誰に対してもそう言います。だから職員には、電話の応対についても、ド～レ～ミ～ファ～ソ～ラ～♪「ラ」の音で言いなさいって毎日言ってます。

岡部：シ～ド～♪は無いですか？（笑）

多田：そうです。「ラ」の音で言わないかんよ～って！

岡部：カッコいい～！ それじゃ「ラ」の音を出してみましようか～！

・・・と、おもむろにウクレレを取り出した岡はちさん。対談はいつしかウクレレ教室で盛り上がるのでした。お忙しい中、駆けつけて下さった岡部はち郎さん。本当にありがとうございました。

事業報告 I

平成22年度 第3回スタッフセミナー 「服薬管理におけるリスクマネジメント」



平成22年9月16日（木）、本年度の第3回スタッフセミナーが朝倉市総合市民センター（ピーポート甘木）にて開催された。

「服薬管理におけるリスクマネジメント」をテーマとし、福岡県薬剤師会・常務理事の西村哲成氏を講師に迎え、薬が身体に効果をもたらす仕組みやその副作用、アレルギーといった基本的なことから、病院から在宅まで患者が適切な服薬を継続的に行うための薬剤師間の連携やサポート方法などを解説して頂いた。

併用薬が増え、整理がつかなくなっていて服用できないでいる方や、薬効を理解できていないがために薬を飲めない方がいる現状を踏まえ、適切な服薬指導・支援が必要なことや、また、薬剤師自身も、薬の効能や注意点の説明にだけとらわれがちな状況を鑑み、患者の病状、ADL、そしてQOLに薬が与える影響を正しくアセスメントする必要があることなどが説明された。



平成22年度 第4回スタッフセミナー 「皮膚科領域における感染症について」



平成22年11月18日（木）、朝倉市総合市民センター（ピーポート甘木）にて本年度の第4回スタッフセミナーが開催された。

今回は、朝倉医師会病院・皮膚科医長の上田厚登氏を講師に迎え、「皮膚科領域における感染症について」をテーマに、皮膚の構造をはじめ、感染症の種類・経路やそのメカニズム、予防策、発生時の施設での対応など様々な角度から解説をして頂いた。

皮膚感染症とは、大きく分けると、細菌性・ウイルス性・真菌性・動物性からなり、発症するものも身近な湿疹から後天性免疫不全症候群（AIDS）まで多岐にわたることが紹介されたほか、特に近年高齢者の施設で流行が繰り返されている疥癬（かいせん）については、その原因となるヒゼンダニの生態から感染の仕組み、治療法、患者への対応法などが詳細に解説された。



事業報告Ⅱ 部会活動報告

訪問看護部会

たちあらい訪問看護ステーション 中原文枝



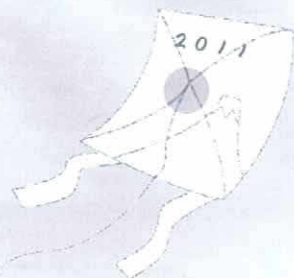
訪問介護部会は今年度1事業所の新規入会があり、全4事業所が参加しています。年4回の部会を開催し、今年目標の一つであった居宅介護支援部会との合同部会を10月に開催でき、さらなる連携と協働をしていきたいと思っています。部会では、意見交換や対応の難しい事例などを持ち寄り、利用者とその家族が安心して在宅生活を送れるよう支援させて頂いております。その人の思いに寄り添った看護を提供していきたいと努力しています。



訪問介護・訪問入浴介護部会

ホットオアシス 平井寛子

訪問介護部会は16事業所が参加しています。各関係機関との連携や事業所の事例などを出し合い、より身近な問題として取り上げ、訪問先のより良い対応や対策・改善の方法など情報の交換をしています。それぞれに抱える対応の難しい事案や法令・介護保険法への利用者様・ご家族様の理解といった関わる生活の背景や事情などお一人様ずつに違いがあり利用者様のニーズとそのサービスが適切か？など、QOLの向上につなげる為、その方の生活歴に添える支援・介護の提供と身近に接するからこそその「気づきや視点・着目」を大切に考えています。



Hobby Box

～ 車と大自然と私 ～

甘木中央病院 リハビリテーション室 作業療法士 出利葉 亮介さん

岡村ら(※1)は『乗り物とは、主に人や物を乗せて移動や輸送をするための機器や道具である』と述べています。

幼いころから祖父と一緒にバイクにまたがり田舎道を走っていた私は、気がつけば「乗り物」好きになっていました。三輪車→自転車→バイク→軽自動車と数々の乗り物を使い継ぎ、就職して半年ほどで現在のワゴン車を購入、私にとって「乗り物」はただの道具や足ではなく、自分の体の一部であり、秘密基地のような存在になっていました。

天気の良い休日は必ず早朝ドライブ。澄んだ空気の中、好きな音楽を聴きながらのドライブは日々の疲れを癒してくれます。最近では寝袋に懐中電灯、天体望遠鏡と言ったアウトドアセットも買い揃え、車内泊を利用した「二泊三日九州一周ドライブ旅行」を計画中です。これまでに大分・福岡・佐賀・長崎・熊本と北部九州は走りましたが、宮崎・鹿児島などの南部九州は初進出。黒豚にチキン南蛮、桜島に高千穂と名物を堪能したいところです。

さて、様々な名所に足を運んだわけですが、一番のおススメスポットは写真にも載せている地元の鷹取山です。浮羽町から南に進み、名所「調音の滝」を右手に眺めながら車を走らせ、お茶畑を抜けるとそこには熊本の山々が広がり、大牟田・有明海・雲仙普賢岳と言った贅沢な景色を見ることができます。さらに登った鷹取山頂の鷹取城跡展望台からは南側の景色に加え、うきは市・朝倉市・久留米市も眺めることができ、天気の良い日には福岡方面の海（博多湾？玄界灘？）まで見えます。夜景ももちろんおススメです。さらに季節により桃色・緑・赤・白と様々な山の姿を見ることができ、自然のすばらしさを味わうことができます。みなさんも愛車に乗り、友人や家族の方と一緒に足を運んでみてはいかがでしょうか？

※1：岡村繁男・徳田千栄（甘木中央病院 作業療法士）



My Way

デイケアセンターうらうめ 高瀬 照美さん

今回の紹介者は「訪問看護ステーションKou 手島智康」さんです。

今回、介護老人保健施設デイケアセンターうらうめに勤務されています高瀬照美さんをご紹介します。

高瀬さんとのお付き合いは平成21年4月から参加させていただいております朝倉市介護認定審査会中で、同じ合議体だったことから始まりました。当初、はっきりとした言葉で意見を言われる方と言う印象が強く、会議場で挨拶を返される時も素敵な笑顔でそのお姿に好感が持てたのを覚えています。当事業所が同年5月より朝倉地区も実施区域として届け出をさせていただき、自社のチラシをお渡しした翌日、高瀬さんが職場で当事業所の話をされていた時に偶然に営業でお邪魔して、「なんてタイミングが良すぎるの」とお互いに目が点になりそう感じの中、気さくに笑って応じて頂きました。（ありがとうございました。）

その私を見込んでか（見込み違いでなければと、内心ハラハラものでしたが・・・）

「勉強会で講義を！！」との要請があり、6月にデイケアセンターうらうめの職員研修で「移乗を中心とした介助法」を、8月に協議会の通所リハビリ・通所介護合同研修会にて「集団レクの見方」とのテーマにて講義・講演をさせていただきました。（その講義の際アシスタントをしてくれたのが、私の紹介者である朝倉健生病院の永露さんだったのでしたが・・・）当時朝倉地区にて全く知名度の無い時に、このような仕事のお話をいただいたことは正しく天の声にも等しく、講演を通して存在をアピールする場を作っていただき感謝しきりで、首に装具を巻いたまま（その2週間前に交通事故にあっただけで・・・）しゃべっていたのが今でも記憶に残っています。

今は介護認定審査会の合議体も異なり御顔を拝見する機会も少なくなっておりますが、協議会の研修会等でお会いした時には、変わらない笑顔で接していただけたら幸いです。今後ともよろしく願いいたします。

次回は高瀬 照美さんからのご紹介で

グループホーム和笑 の 竹島久美子 さんです！



介護スタッフリレーコラム

「私の生きる道」

介護老人保健施設 デイケアセンターうらうめ K・I

居宅支援事業所にケアマネージャーとして1年半の勤務後、施設のケアマネージャーとして勤務し始め4年が過ぎました。介護職を経てケアマネージャーの仕事に携わり、右も左も分からず働いてきた様な気がします。今思えば、「あちゃー」と思う失敗談や「これで良かったよね」フーと思う瞬間があります。

仕事をしていく中で、周りの職員の方を見習い、私の持っていない話術や人との接し方などを自分のものにしようと、日々心がけています。自分に驕ることなく、初心を忘れず、暖かい気持ちで人と接し、利用者の方やご家族に信頼される相談員になりたいと思っています。

徒然日記

たちあらい訪問看護ステーション N・Y

～ ツボ刺激 ～

早いものでもう2011年です。忙しい師走を乗り越えてお疲れの皆さまへのお助けアイテム、気持ちも体もほぐせる「ツボ刺激」を紹介したいと思います。

脳全体ゾーンを押しもみすると気持ちいいですよ。ぜひ一度おためし下さい。

少衝 (しょうしょう)

気持ちを安定させます。



神門 (しんもん)

不安感やストレスによるイライラした気分を鎮めます。



中衝 (ちゅうしょう)

血液の循環をよくするのに効果的。安定した眠りが訪れるでしょう。



脳全体ゾーン

感情や意志と深い関わり

失眠穴 (しつみんけつ)

なかなか寝付けない、眠りが浅いという時に効くとおきのツボ。

中指ゾーン

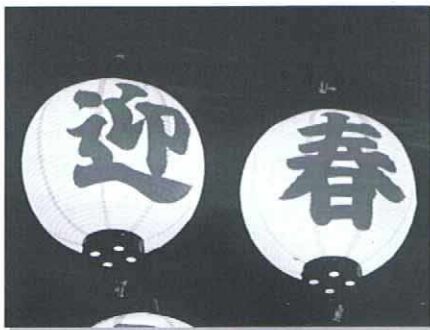
心の疲れと深い関わり



心包区 (しんぼうく)

気持ちが落ち着き、イライラが静まります。

編集後記



新年明けましておめでとうございます。昨年は、民主党の行政刷新プロジェクトチームの「事業仕分け」が流行の言葉になりましたが、来年度の予算にどう反映されるのでしょうか。自分をかえりみると、私のムダは、「ムダ食い」が一番かも・・・と、分かっていながら止められない日常の「人生仕分け術」の難しさを痛感した年末でした。今年は、いつまでも輝いている言葉が流行るといいですね。

さて、今年もたくさんの方にご協力をいただくことと思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。